

個 別 の 人 権 課 題			アイヌの人々		
校 種	高等学校	本時に関わる 3つの側面	知 識 的 側 面	○	
対 象 学 年 等	第1学年		価 値 的 ・ 態 度 的 側 面	◎	
教 科 等	家庭基礎		技 能 的 側 面		
単 元 名	衣生活をつくる				

1 単元の目標及び計画

(1) 単元の目標

- ア 被服の機能と着装，被服材料，被服構成及び被服衛生について理解するとともに，被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。
- イ 被服の機能性や快適性についての課題を解決する力を身に付ける。
- ウ 衣生活と健康について，課題の解決に主体的に取り組み，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする態度を養う。

(2) 単元の計画

- 1次・・・衣服の機能と着装（本時）
- 2次・・・衣服素材の種類と特徴
- 3次・・・衣服の管理と保管
- 4次・・・持続可能な衣生活

2 学習指導要領等の該当箇所

高等学校学習指導要領・第2章・第9節家庭・第2款・第1家庭基礎

2 内容 B 衣食住の生活の自立と設計

(2)衣生活と健康

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア)ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解し，健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができること。

(イ)被服材料，被服構成及び被服衛生について理解し，被服の計画・管理に必要な技能を身に付けること。

（内容の範囲や程度）

内容のBの(1)のア，(2)のア及び(3)のアについては，日本と世界の衣食住に関わる文化についても触れること。その際，日本の伝統的な和食，和服及び和室などを取り上げ，生活文化の継承・創造の重要性に気付くことができるよう留意すること。

また，「高等学校学習指導要領解説 家庭編 家庭基礎」では，次のように示されています。「(2)のアについては，例えば，和服と洋服の構成や被服材料の違いを取り上げ，（中略）和服の種類や特徴などに触れることも考えられる。その際，地域の気候や風土で培われた伝統的な衣服に関心をもつことができるよう，例えば，北海道のアイヌのアットゥシや沖縄の紅型等を取り上げて各地に伝わる伝統的な衣文化を題材に指導することも考えられる。」

3 本時の目標

衣服の起源や機能について理解し，各ライフステージにおいて健康で快適な衣生活を送るための着装の工夫について考えることができる。

4 人権教育との関わり

健康で快適な衣生活の実現に向けて，衣服の機能や着装について学習する中で，個別の人権課題の一つである「アイヌの人々」に関連する内容を取り扱います。その際，衣服の起源や機能について学ぶとともに，アイヌの衣文化を事例として取り上げて，各地域の気候や風土で培われた伝統的な衣文化に関心をもたせ，これらの生活文化を継承・創造していくことの重要性に気付かせることを大切にしています。

5 本時で育てたい3つの側面

知 識 的 側 面	人権の発展・人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識
価 値 的 ・ 態 度 的 側 面	多様性に対する開かれた心と肯定的評価

6 本時の学習過程

学習過程等	人権教育との関わり等	資料等
<p>・各自の衣生活を振り、本時の学習への関心を高める。</p> <p>【課題】衣服にはどのような機能があるのか理解し、健康で快適な衣生活の実現に向けて、私たちはどのような衣服を選択するとよいのか考えよう。</p> <p>■学習活動</p> <p>【人が衣服を着るようになった理由は何だろう。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厳しい気候や外敵から身体を保護する、集団への所属を示す、装飾して美しく見せるなど様々な説が考えられている。 ・衣服の起源は諸説あり、各地域で民族の風土や生態に根差して衣服が着用され、それが慣習となって各地域における衣文化が創造されたと考えられている。 <p>■学習活動</p> <p>【私たちの衣服にはどのような機能があるのだろうか。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寒い時や暑い時に体温調節をしたり、汗や皮脂を吸収し、皮膚を清潔に保ったりする保健衛生上の機能がある。 ・運動時は適度に体に沿う伸縮性のある素材の衣服を着用し運動効率を高めたり、就寝時にゆとりのある構造の衣服を着用しリラックスしたりする生活活動上の機能がある。 ・職業や所属集団を表したり、行事など社会習慣へ順応したり、自分の個性を表現したりする社会生活上の機能がある。 <p>■学習活動（グループ）</p> <p>【私たちは各ライフステージにおいて、どのような衣服を選ぶとよいのだろうか。】</p> <p>（例）乳幼児期は汗をよく吸い、体温調節しやすい衣服。 （例）青年期は流行に敏感になり個性を表現できる衣服。 （例）壮年期は仕事や行事などTPOに合わせた衣服。 （例）高齢期は変化する体型に合わせてゆとりがある衣服。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各ライフステージの身体的特徴や生活活動等に応じて、必要とされる機能が十分備わった衣服を選ぶとよい。 <p>【まとめ】衣服には、保健衛生上の機能や生活活動上の機能、社会生活上の機能等があり、各ライフステージで異なる身体の特徴、生活の内容、行動様式等に応じて必要とされる機能が十分備わっている衣服を選ぶとよい。</p> <p>■学習活動</p> <p>【地域の気候や風土で培われた伝統的な衣服について、アイヌ民族の衣文化を事例として調べてみよう。】</p> <p>（例）地域に自生するオヒョウの樹皮や動物の皮など、身近にある材料を利用して衣服を作り環境に応じて着用した。 （例）伝統的に伝わるアイヌ文様を刺繍して、病気を防ぐ魔よけの意味ももたせて着用した。 （例）木綿の布が手に入るようになると、儀式や特別な日に着る晴れ着を作るようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これらの伝統的な衣文化を継承することが大切である。 	<p>【知識的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権の発展・人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識 <p>【指導上のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人々は独自の豊かな文化をもっているが、過去の同化政策等により、今日、その保存・伝承が図られているとはいえない状況にあることに触れる。 <p>【価値的・態度的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様性に対する開かれた心と肯定的評価 <p>【指導上のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アットゥシなどをはじめとする各地に伝わる伝統的な衣文化を、今後も継承していくことが大切であることに気付かせる。 	<p>○広島県資料『『気づき』から『きずな』へ』（抜粋） ○公益財団法人アイヌ民族文化財団「アイヌ民族：歴史と現在」</p>